# ビームライン・実験装置 評定票

評価委員名	電子物性分科				
ビームライン名	BL-28B		ビームライン担当者名	岩伯	主俊明
課題数	過多	やや過多	適切	やや過少	過少
混雑度	2 倍以上	1.5 倍から	2倍 1倍から1.5倍	0.5 倍から 1 倍	0.5 倍以下
主な研究手法、研	a X線磁気円二色	色性測定	分野をリード、分野の	中核の野の一人	.、分野外
完分野とビームラ イン担当者の位置	b X線共鳴非弾性	生散乱測定	分野をリード、分野の	中核、分野の一人	、分野外
付け	c		分野をリード、分野の	中核、分野の一人	.、分野外

# ビームラインの性能等について

適切に保守、整備されて、本来あるべ き性能を発揮しているか		5 フル性能 を発揮	4 ほぼ性能 を発揮	3 まあ性能 を発揮	2 改善の余 地あり	1 改善が必 須
取扱は容易か		5 容易	(4)やや容易	3 普通	2 やや難	1 難
取扱説明書は整備されているか		5 充実	4 やや充実	3普通	②やや不足	1ない
性能・仕様等で特記 すべき点、他施設と 比較して特記すべき 点	位相子で得られ ことのできるの 位である。 <b>6keV</b> 以上では 山本一北村型ア	のは、世界的に SPring-8 に性	見てもこの BL 能的には対抗で	28B と ESRF ごきない。		
改良・改善すべき点	特になし					

### 実験手法のビームラインとの適合性・研究成果について

※1:光源、ビームライン光学系と研究手法は適合しているか。

**1:	ームフィン光字	糸と研究手法は マニ	適合しているか	,0		
	適合性 (※1)	5. 最適	4. 適切	3. 妥当	2. やや不適	1. 不適
	研究成果	5.極めて高い	4. 高い	3.) 妥当	2. やや低い	1. 低い
手法 a	コメント、伸 ばすべき点、 改善すべき点	<b>6 keV</b> 以下のF	<b>月偏光</b> X 線を利	用する研究を積板	<b>極的に推進すべき</b>	である。
	適合性 (※1)	5. 最適	4.)適切	3. 妥当	2. やや不適	1. 不適
	研究成果	5極めて高い	(4.)高い	3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
手法 b		ビームライン( 白い研究が期れ		解能が現状より	改善されれば、よ	りいっそう面
	コメント、伸 ばすべき点、 改善すべき点					
	適合性 (※1)	5. 最適	4. 適切	3. 妥当	2. やや不適	1. 不適
	研究成果	5極めて高い	4. 高い	3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
手法 c	コメント、伸 ばすべき点、 改善すべき点					
	研究成果	5極めて高い	(4.)高い	3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
総合評価	世界の状況と 比較してのライン性能ができる イン性をなる は を は を は を は に と な る と は る と は る と る る る る る る る る る る る る	研究成果を出	すまでに時間が	かかる研究が多	でのアウトプット; く、アウトプット インの利用者には	がすぐに増え

# | | 41 |

#### 実験装置の性能等について

大教教園の圧配寺について							
使用している実験装置	社名(a)	磁気円二色性測定装置					
		5 フル性 能を発揮	4 ほぼ性 能を発揮	3 まあ性 能を発揮	2 改善の 余地あり	1 改善が 必須	
取扱は容易か		5. 容易	4.やや容易	3. 普通	2. やや難	1. 難	
取扱説明書は整備されているか		5. 充実	4.やや充実	3. 普通	2.やや不足	1. ない	
性能、仕様等で特記 すべき点	特になし						
改良・改善すべき点	特になし						

使用している実験装置名(b)		2次X線分光器					
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を 発揮しているか		5 フル性 能を発揮	4 ほぼ性 能を発揮		2 改善の 余地あり		
取扱は容易か		5. 容易	4. やや容易	3. 普通	2. やや難	1. 難	
取扱説明書は整備されているか		5. 充実	4.やや充実	(3.)普通	2.やや不足	1. ない	
性能、仕様等で特記 すべき点	円筒分光法を採用し、「分解能もローランド分別			取り扱いが	遙かに簡単。	エネルギー	

使用している実験装置名(c)					
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を 発揮しているか	5 フル性 能を発揮	4 ほぼ性 能を発揮	3 まあ性 能を発揮	<ol> <li>改善の 余地あり</li> </ol>	1 改善が 必須
取扱は容易か	5. 容易	4.やや容易	3. 普通	2. やや難	1. 難
取扱説明書は整備されているか	5. 充実	4.やや充実	3. 普通	2.やや不足	1. ない
性能、仕様等で特記すべき点					
改良・改善すべき点					

### 今後のビームラインのあり方について

学後のヒームラインの	かめりかにしいて
今後の計画の妥当性 について	位相子が使えないエネルギー領域の研究を推進するという計画は、非常に妥当な判断であると思われる。エネルギー分解能を向上させる点に関しては、円偏光度のより一層の劣化を伴うこともあり、慎重に判断すべきである。
今後5年間に	高い優先度で 余裕があれば 予算投入 現状維持 投資を抑制す 転用の道を探 ずべき すべき
その他今後の計画に付いての意見	利用グループが固定化傾向にある。 新ユーザーは徐々に育っていると聞いたが、利用への敷居を低くすることができればまだまだユーザーの増加が期待できる。 MXCD,EXAF が中心の研究が実施されている。ビームラインの個性や混雑度の割には論文数が少ない。 要は BL、ステーションの使いやすさと、初心者講習を含めた施設側のサービスに依存する。 The circular polarization capability of this beamline in the soft X-ray region would appear to make it highly competitive with beamlines elsewhere, even in comparison with the ESRF. it should be therefore be ideally suited to the MCD experiments which form the main part of its experimental programme. However, since this is not my area of research expertise, I am unable to make an informed judgement of its capabilities in comparison with other beamlines around the world.